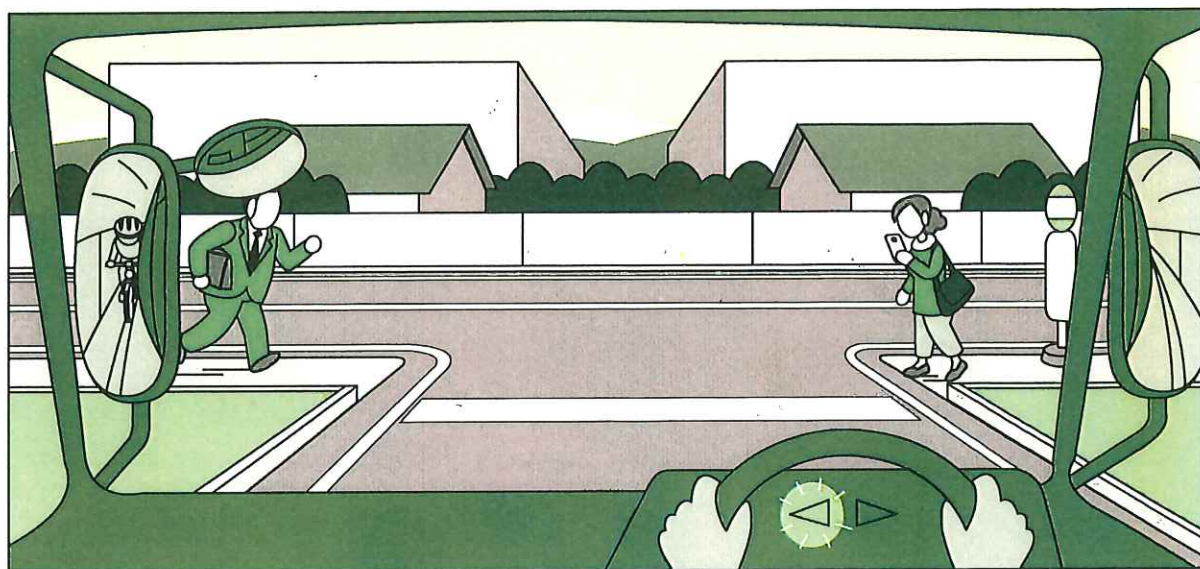


# 危険予知訓練 (KYT) シート：交通事故防止編 あなたならどうしますか？

## 〔第 155 回〕「通勤時間帯のバス停の周辺」

### 状況

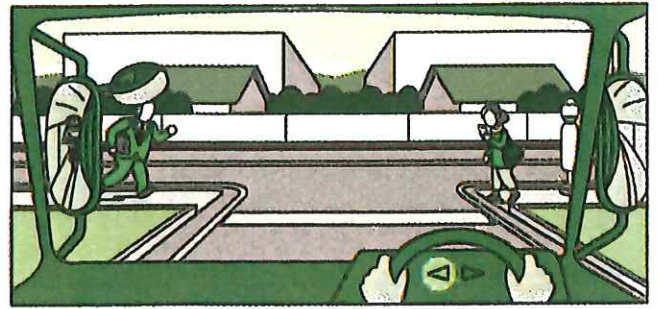
あなたは通勤時間帯の路地を走行しています。交差道路の右側にはバス停が見えます。あなたは交差路を左折しようと考えていますが、この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



◆どのような危険がありますか？

◆どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

あなたは通勤時間帯の路地を走行しています。交差道路の右側にはバス停が見えます。あなたは交差路を左折しようと考えていますが、この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



### ○ どのような危険がありますか？

- ① 走ってバス停に向かってくる歩行者やながらスマホの歩行者と衝突する危険があります(図1)。
- ② 道路を通行してきた二輪車や車と衝突する危険があります(図2)。
- ③ 左折時に左側方を通行してきた自転車を巻き込む危険があります(図3)。

### ▶ どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

- ① 通勤時間帯のバス停付近では、周辺の歩行者に注視する必要があります。この場面では、前方左からバス停に向かって走っている会社員のほか、右にはながらスマホの歩行者が見えます。急いでいる人やながらスマホの歩行者は、自車が近づいていることに気づかないことがあります。また、気づいていても「トラックは止まってくれるだろう」と考え、自車の前に出てくるのが考えられます。したがって、歩行者の動きを確認して、一時停止するなどして、歩行者の横断を優先させましょう。
- ② 歩行者の横断が終わったからといって、安易に左折しようと道路に出ると、道路を進行してきた二輪車や車と衝突する危険があります。通勤時間帯は急ぎの心理に陥りやすく、誰もが「われ先に」となりがちです。このような一般ドライバーの特性を踏まえて、道路に出る前に必ず左右の安全確認を徹底しましょう。二輪車や車が接近している時は、車や二輪車を先に行かせましょう。
- ③ 左折時に、自転車や二輪車を巻き込む事故が発生しています。この事故は、左側方を直進してくる自転車や二輪車を見落としていたり、左側の安全確認を怠ったことが主な原因です。左折する時には、事前にミラーと目視で左側方を走行する自転車等がないか確認しましょう。また、左折時にも自転車等を見落としていない

図1

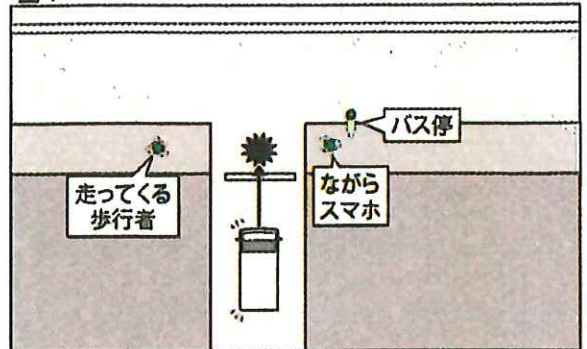


図2

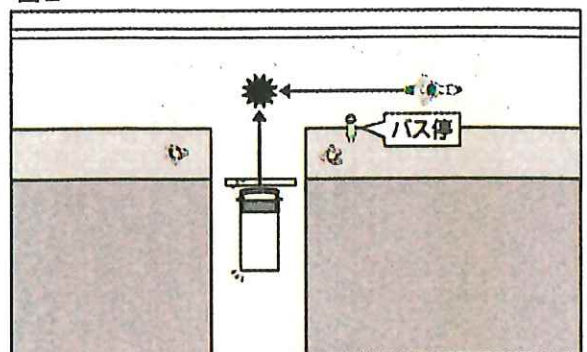
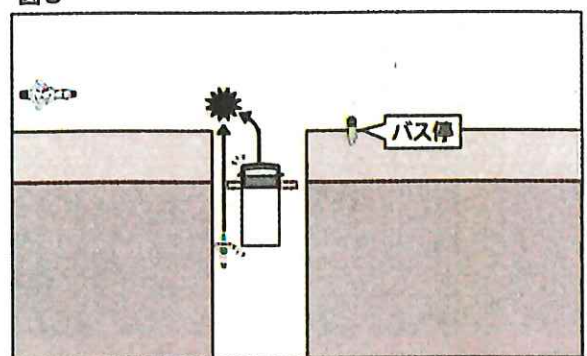


図3



か、しっかり左側方をチェックしましょう。新しい移動手段として注目されている、いわゆる電動キックボードは、特に見落としやすいので注意してください。